

平成31年度（前期・後期）配水管技術研修《2日間コース》

月日	時間	科目（予定）
第1日目 （開催期日は下記参照）	8:30～ 9:00	受付 【場所 前期・後期：中村ウォータープラザ 1階会議室】
	9:00～ 16:30 ※昼休み 休憩1時間を含む	開講式・オリエンテーション
		送配水の基礎 ----- 送配水施設、配水方式、配水ブロックシステム及び直結給水の拡大についての効果等を学ぶことによって、水道施設における送配水の基礎知識を習得します。
		配水管総論 ----- 配水管の配置の基本や水道管の種類と特徴、大地震にも抜け出さない管接合形式等について学びます。
		配水管事故事例（原因と対策） ----- 腐食性土壌に起因した配水管の漏水によって近接するガス管に大きな被害を与えてしまったサンドエロージョン現象による事故など、過去の事故事例と原因・対策について紹介します。
		送配水管計画 ----- 送配水管の耐用年数や耐震管の歴史、横浜市の配水管耐震化計画、管路情報の種類と管理方法及び横浜市のマッピングシステム導入の目的と効果について学びます。
		管布設における各種工法 ----- 開削工法と非開削工法の分類、不断水による工法、推進工法、シールド工法、内挿管工法など、管の布設、維持管理に関する各種工法について学びます。
第2日目 （開催期日は下記参照）	9:30～ 16:00 ※昼休み 休憩1時間を含む	【場所 前期・後期：中村ウォータープラザ 管路研修施設】 実習のねらいとポイント説明 ダクティル鑄鉄管技術実習 ・K形継手配管実技 ・NS形継手配管実技 ----- 配管技能を有し、経験や指導力等に優れた横浜市水道局認定のテクニカルエキスパート(TE) やテクニカルメンバー(TM) が管路研修施設にて配管接合技術を分かり易く実技指導します。
		閉講式

※科目ごとの時間割詳細については調整中です。

※1日目と2日目のスタート時間が異なるのでご注意ください。

目的 本研修会は、横浜市水道局の管路研修施設等を利用して、ダクティル鑄鉄管の接合技術を体験により修得するとともに、送配水の基礎知識から横浜市の計画や取組、事故事例と原因・対策など、実務に役立つ知識を身につけていただくことを目的とします。

研修対象員 水道事業体技術系初級職員及び民間企業初級技術者
20名

開催期日及び研修会場	開催期日	研修会場
	(前期) 6月19日、20日	横浜市水道局中村ウォータープラザ 横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）
	(後期) 10月16日、17日	横浜市水道局中村ウォータープラザ 横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）

受講料 1名 33,000円（消費税込み）

その他

実技実習日(第2日目)は、作業服(必ず長袖)・安全靴(半長靴が望ましい)を持参して下さい。軍手・ヘルメットは主催者側で用意します。

講師

横浜市水道局職員

アクセス

中村ウォータープラザへは公共交通機関をご利用の上お越しください。(マイカーでの来場はできません。)